

# 地層の重なりと過去の様子5

年

組

名前

H24 3 (4)

その後、露頭の観察を行いました。図3は、図1の矢印で示した向きに観察したそれぞれの露頭の様子を表したものです。

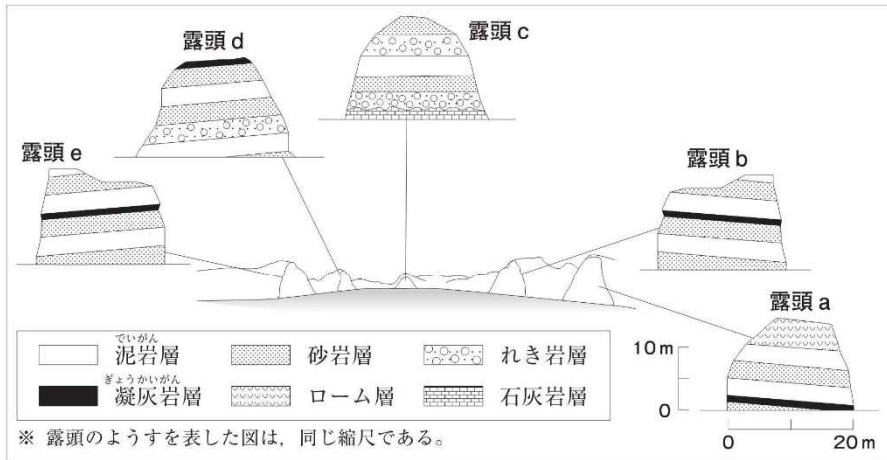
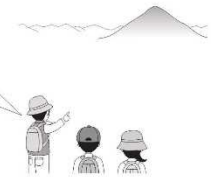


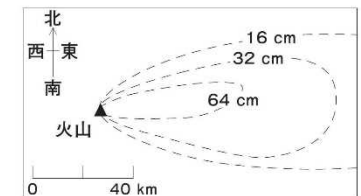
図3

**観察3** 露頭aのローム層について、先生は次のような説明をしました。

二人が通っている中学校の近くにもローム層があります。そのローム層は、この観察地と同じ時期に堆積したもので、その厚さはこの観察地より薄いことがわかっています。また、ローム層は、遠くに見えるあの火山から噴出した火山灰が、主に西から東へ吹く上空の強い風の影響を受けて堆積したと考えられています。



(4) 図4は、国内のある火山の噴火による火山灰の広がりを推定したものです。火山灰の広がりは、主に西から東へ吹く上空の強い風の影響を受けています。



※ 点線部の数値は、ある噴火により降り積もった火山灰の厚さの推定値。

図4

下の模式図で、Pは観察地、Qは中学校の位置を表しています。観察地から見える火山、P（観察地）、Q（中学校）の位置の関係を表している最も適切なものを、図4を参考にして、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

